

はじめに

奈良県では、「県政の目指す姿」である「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ため、「経済の活性化」や「くらしの向上」に向け、持続可能な財政運営を維持しつつ、直面する県政諸課題に積極果敢に取り組んでいます。

国においては、「人口減少克服・地方創生」の実現に向け「まち・ひと・しごと創生本部」が設置されました。本県においても、重要課題への取り組みと国の施策推進の動きをうまくマッチングさせるため、「奈良県地方創生本部」を国に先駆けて設置し、本県独自の地方創生を目指します。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機とする、国際観光の振興、文化の発信、国際交流の促進、スポーツの振興、にぎわいの拠点整備に引き続き取り組み、併せて、紀伊半島大水害からの復旧・復興から新たなステージに移ることになる南部・東部地域のさらなる振興にも積極的に取り組みます。

「主な政策集 もっと良くなる奈良県」は、これらのテーマを含めた県政の重要課題について、これまで重ねてきた議論を実現・実行させるため、「地域を良くしたい」という強い思いのもと、必ずやり遂げるという信念を持って智恵と工夫を凝らし、実行段階にある諸施策を盛り込み、内容の充実を図りました。

今後も、「主な政策集 もっと良くなる奈良県」に盛り込んだ諸施策を着実に実行し、これまで育ててきた発展の芽をより大きな成果へと結実させ、「未来の県民」のためにも、より良き奈良の未来づくりを進めていきます。

平成 27 年 2 月

奈良県知事 荒井 正吾

